

## 企業情報への不正アクセス

### イーディーが防止装置

情報セキュリティ関連のイーディーコントロールはデータベース用の不正アクセス防止装置を十五日に発売する。企業の顧客情報や財務情報が蓄積されたデータベースへのアクセスを管理し、

データの盗用や破損を防ぐ。二〇〇八年の日本版SOX法（企業改革法）施行に備え、企業が内部情報の管理を強化していることに対応する。

装置はシステム開発のデータベーステクノロジ

（大阪市、鈴木隆史社長）が開発した。「SQL」と呼ばれるデータベースに使用される言語を解析。データベースへの接続方法や使用するプログラムの種類などを分析し、通常使用される以外のプログラムやIP（インターネット・プロトコル）アドレスからの接続を拒否する。

装置は一秒あたり三百カ所程度からの接続を処理できる。価格は三百五十万円で、初期設置費用は三十万円程度から。初年度百台程度の販売を目指す。

これまで販売されていた他社製の装置は、暗号解析に時間がかかるなどの欠点があった。